

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、子どもたちの
創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもたちを産み育て
やすいデザインを顕彰する制度

「第6回キッズデザイン賞」

2012年3月5日、応募受付を開始。

昨年同様、経済産業大臣賞等7本の大臣が設定。

本年は復興支援の取り組みについても募集します。

キッズデザイン協議会



KIDS
DESIGN
AWARD
2012

平素より、キッズデザインの推進に関しましてご指導、ご協力いただきましてありがとうございます。

私どもキッズデザイン協議会(内閣府認証NPO、本部:東京都港区、会長:和田勇)が主催する第6回キッズデザイン賞は、2012年3月5日(月)10:00からウェブサイト(www.kidsdesignaward.jp)上に応募シートを公開、応募受付を開始いたします(応募締切は5月7日(月)23:59まで)。実施概要につきましては別紙の通りです。次世代育成や少子化対策など、子どもを取り巻く環境にますます注目が集まる中、キッズデザイン賞の社会的、文化的な位置づけや評価も年々高まっています。今後とも引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

■本年のポイント・・・

・計7本の大臣賞を設定・・・第6回となる本年のキッズデザイン賞は、昨年同様、最優秀賞には経済産業大臣賞、少子化対策担当大臣賞、消費者担当大臣賞の計7本の大臣賞を設定いたしました。

・復興支援の取り組みを募集・・・昨年の東日本大震災の被災地への子ども視点を持った復興支援の取り組みについても広く募集致します。復興支援デザイン部門を特別に無料応募枠として設立。→P.4

・一般生活者の方からの推薦募集・・・本年も引き続き、一般生活者の方々から身の回りの子ども目線に優れた製品やサービスをキッズデザイン賞に推薦いただく仕掛けとして、「あなたのおすすめ!キッズデザイン」をウェブサイトと同時に展開し、生活者目線でのキッズデザインの推進へとつなげていきます。

■キッズデザイン賞とは・・・

キッズデザイン賞は「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインのデザインミッションを実現し、普及するための顕彰制度です。乳幼児用品や玩具などの子ども向け製品・サービスに限らず、大人向けのものでも、子どもに対する配慮がなされた良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを幅広く募集します。受賞作品は、「キッズデザインマーク」を使用することができます。

<キッズデザイン 3つのデザインミッション>

①子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子どもの身体特性や行動特性、不測の状況が子どもにもたらす影響などに配慮し、技術や素材においてもその応用・活用が優れているデザイン

②子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの創造力を喚起・進化させる仕掛けや、身体的・精神的発育に対して新たな提案、子どものコミュニケーション能力、表現能力を高める工夫が施されているデザイン

③子どもたちを産み育てやすいデザイン

子どもの安全を確保し、かつ親(大人)の身体的・精神的負担の軽減や、出産、育児を安心して、楽しく行うための配慮がなされているデザイン

『第6回キッズデザイン賞』実施概要

WEB サイト: <http://www.kidsdesignaward.jp/>

【応募期間】 2012年3月5日(月) 10:00 ~ 5月7日(月) 23:59

【主催】 特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会

【後援】 経済産業省(予定)

【応募対象・応募部門】

■応募の対象を次の4つの中から選択します。

商品デザイン分野

: 家電、おもちゃ、本、ファッション、アパレル、化粧品、靴、インテリア、寝具、キッチン、日用品、雑貨、文具、伝統工芸品、菓子、飲料、食品、スポーツ、乗り物、福祉機器、ソフト、その他あらゆる工業製品のデザイン。キッズデザインの考え方に資するシステム、機器などを含む。

建築・空間デザイン分野

: 住宅、施設、公園、景観、土木、造園、緑化、その他あらゆる空間・ランドスケープ・修景のデザイン。

コミュニケーションデザイン分野

: イベント、ワークショップ、セールスプロモーション、パブリックリレーションなどのコミュニケーション活動のデザイン、また、企業、NPO、自治体等の団体が進める公共性の高い社会貢献活動、地域での取り組み・サービス・行事、ウェブその他の媒体等を活用したコミュニケーション活動など。

リサーチ分野

: 児童研究・科学技術開発などの調査・研究活動。知的財産、ビジネスモデルなどを含む。

※リサーチ分野の受賞作品は原則としてそのデータを含めた成果を公開し、社会が共有することでキッズデザインの普及に役立てることを意図しています。そのために、リサーチ分野の審査料は応募者を問わず無料としています。

■次に、キッズデザイン3つのデザインミッションから設けられた6つの部門に、昨年から引き続きテーマ賞として設けられた1部門を加えた、合計7つの部門の中から応募部門を選択します。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

一般向けも含めた子どもの視点による安全・安心に関する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

※未来を担う消費者デザイン部門の対象は除く。

- ① **子どもの安全安心デザイン 子ども部門** (子ども(0~15歳)を対象にしたもの)
- ② **子どもの安全安心デザイン 一般部門** (大人を含む一般生活者全般を対象にしたもの)

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの健全な育成、五感や感性の発達に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

※未来を担う消費者デザイン部門の対象は除く。

- ③ **子どもの未来デザイン クリエイティブ部門**(子どもの創造性・感性・五感を育むもの)
- ④ **子どもの未来デザイン賞 リテラシー部門** (様々な知識取得や運動力の向上など子どもの健全な育成を促すもの)

子どもたちを産み育てやすいデザイン

妊婦やその周辺の人、乳幼児や子育て支援に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

※未来を担う消費者デザイン部門の対象は除く。

- ⑤ **子どもたちを産み育てやすいデザイン 個人・家庭部門**(子育ての当事者である親、個人(妊婦含む)が家庭等で使用、利用するもの)
- ⑥ **子どもたちを産み育てやすいデザイン 地域・社会部門**(保育園、学校等の子育ての現場や自治体、各団体が複数人数の子どもや親が使用、利用するもの)

テーマ賞

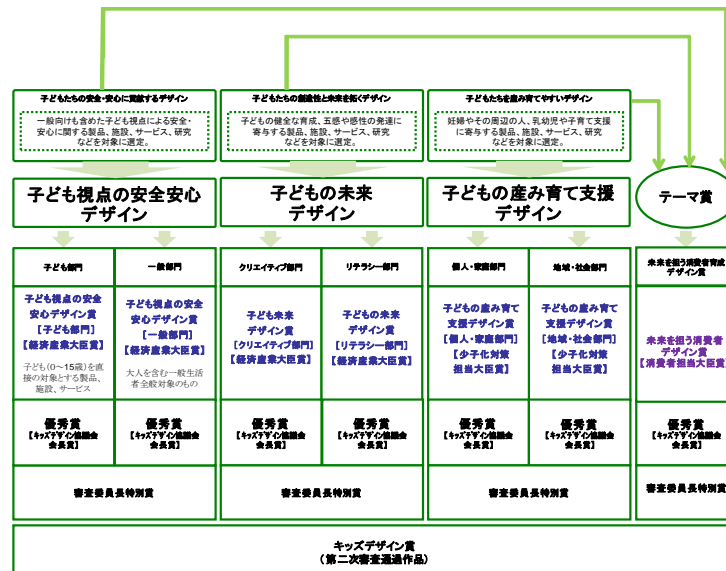
キッズデザイン3つのデザインミッションのいずれかに基づいた、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、それに資する社会環境づくり、消費者の行動を促す取り組みなどを対象に選定(3つのデザインミッションのうちどれに該当するかを応募時に選択いただけます。)

- ⑦ **未来を担う消費者デザイン部門**(未来の自立した消費者となるべき子どもを対象とした教育プログラム、情報収集・発信の活動、子どもを含む生活者への啓発を行なう活動、表示、媒体など)

※安心で豊かな消費生活を送るための基礎となる、子どもへ向けた知識の習得、社会体験の実践、及びこうした活動を支援する製品、サービス全般を対象にします。例として、「子どもがものの仕組みや関係を学ぶための製品、サービス、プログラム」、「子どもが消費行動を体験するための製品、サービス、プログラム」などが挙げられます。

【賞の構成】

第二次審査を通過した作品は、キッズデザイン賞として顕彰します。そのうち、7つの部門それぞれで最も優れたものに最優秀賞として大臣賞が授与されます。具体的には、「子どもの安全安心デザイン賞 子ども部門」、「子どもの安全安心デザイン賞 一般部門」、「子どもの未来デザイン賞 クリエイティブ部門」および「子どもの未来デザイン賞 リテラシー部門」には経済産業大臣賞が、また、「子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門」および「子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門」には少子化対策担当大臣賞が、「未来を担う消費者デザイン賞」には消費者担当大臣賞が授与されます。



【復興支援デザイン部門について】

東日本大震災により、被害を受けられた地域のみなさまに心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

東日本大震災では、多くの子どもたち、子育てに携わる方々も被害を受けられました。キッズデザイン協議会としても、被災地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを一日でも早く取り戻していただきたいと考え、「キッズデザイン復興支援プロジェクト」を立ち上げ、微力ながら支援を続けております。

第 6 回キッズデザイン賞募集にあたっては、復興支援デザイン部門を応募無料の枠として新たに設け、子ども視点を持った被災地での復興支援活動を広く募集致します。

■応募期間について

通常の応募と同様、3月5日～5月7日まで

■分野(応募対象)・部門の選択について

分野を選ぶ必要はありません。分野も「復興支援デザイン」を選択、更に部門のところで「復興支援デザイン部門」を選択してください。

■最優秀賞の扱い

最も優れた取り組みに対しては、特別賞として、キッズデザイン協議会会長より最優秀賞を表彰します。

■応募対象について

東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるものを募集します。

あくまでも「取り組み」が対象のため、防災グッズ等の提案については商品デザイン分野で通常通りの応募となります。

先進的な取り組みを顕彰することが目的のため、アクション方法に工夫のあり、活動を実施した先(被災地)からの反応があるもの、何かしらの成果が見られたもの、継続性を持つものが対象となります。

義援金等の金銭的な第三者団体への寄付行為等は応募対象外とします。

■審査料

二次審査費用を無料とします。

※応募対象の規定から外れるものについては、通常の応募として審査料をいただく場合があります。

■応募資格

通常の応募については、当事者(主たる事業者)からの応募のみ受け付けているが、復興支援デザイン部門については、応募対象の運営主体者からの承諾を得ていれば、当事者以外の第三者から応募することができます。

■応募提出物

通常通り、基本はWEBフォームからの応募とする。②の通り専用フォームがあるため、それを使用して応募してください。

写真については、必須とはしませんが、実施内容がわかる資料の添付は必須とします。実施対象地域、対象者、関連した自治体、学校、NPO、団体・組織は記載可能な範囲で明記してください。

【応募費用】

第一次審査費用:無料

第二次審査費用: 52,500 円(税込)

※復興支援デザイン部門については無料

- ・ 第一次審査を通過した作品のみ、第二次審査(現物審査)にかかる費用として 52,500 円が必要になります。
- ・ 第二次審査を通過した作品はキッズデザイン賞が授与されます。
- ・ 自治体、ならびに、国公立の機関(学校、病院、博物館など)のみが応募者となる場合は審査料は 10,500 円です。
- ・ リサーチ分野における審査料は、応募者を問わず無料とします。ただし、データシートの添付と、受賞後の公開が原則となります。

最終審査費用:第二次審査費用に含まれます

【応募先】

web サイトからの応募を原則とします。

応募受付サイト <http://www.kidsdesignaward.jp>

【スケジュール】

- ・ 応募受付開始 2012年3月5日(月)
- ・ 応募受付締切 2012年5月7日(月)
- ・ 第一次審査(書類審査) 2012年5月8日(火)～5月22日(火)
- ・ 第一次審査結果通知 2012年5月23日(水)
- ・ 第二次審査用現物指定場所搬入期間 2012年中旬
- ・ 第二次審査(現物審査) 2012年6月下旬
- ・ 第二次審査結果通知(キッズデザイン賞告知) 2012年7月上旬
- ・ 最終審査 2012年7月中旬
- ・ 最優秀賞等発表 2012年7月下旬予定

【審査のポイント】

- ・ 未来を担う消費者デザイン部門を除く6部門(子どもの安全安心デザイン 子ども部門、子どもの安全安心デザイン 一般部門、子どもの未来デザイン クリエイティブ部門、子どもの未来デザイン リテラシー部門、子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門、子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門)は、キッズデザイン3つのデザインミッションのいずれかに適い、且つ分野ごとに定められたアピールポイントのどの内容に優れているかを審査評価します。
- ・ 未来を担う消費者デザイン部門については、キッズデザイン3つのデザインミッションのいずれかへの適合性に加えて、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組みやそれに資する社会環境づくり、あるいは消費者の行動を促す取り組みなどにおいて優れているものを審査評価します。

下記は商品デザイン分野のアピールポイントです。

①機能性/操作性

- ・ 用途に応じた機能性が高いレベルで実現されている。
- ・ 明快でシンプルな使い勝手を約束している。
- ・ データや事例に基づき、設計に十分な配慮がなされている。

②社会提案性/有用性

- ・ 3つのデザインミッションに資する、生活者に豊かな価値を提案・提供している。
- ・ 3つのデザインミッションに資する、社会に新しい価値を提案・提供している。
- ・ 子どもを取り巻く新たな市場開発、価値開発に成功している。

③新規性/独創性

- ・ 製品を取り巻く新たな課題発見に成功し、その解決策を提示している。
- ・ 従来製品(分野)を相当程度改善し、新しい価値を生み出している。
- ・ ユニークな視点で開発・製造されている。

④意匠性/造形性

- ・機能が明快に意匠性高く解決されている。
- ・子どもにも大人にも、直感的に機能が理解されるデザインを実現している。
- ・フォルムや色彩感覚が優れている。
- ・用途に応じた使いやすさが十分に考慮されている。

【審査委員】

審査委員長: 赤池 学 (科学技術ジャーナリスト ユニバーサルデザイン総合研究所所長)
 副審査委員長: 無藤 隆 (教育心理学者 白梅学園大学教授)
 持丸 正明 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター長)
 山中 龍宏 (小児科医 緑園こどもクリニック院長)
 審査委員: 赤松 幹之 (産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門長)
 大月 ヒロ子 (ミュージアム&エデュケーションプランナー アイデア代表)
 紺野 登 (デザインコンサルタント 多摩大学大学院教授)
 佐藤 卓 (グラフィックデザイナー 佐藤卓デザイン事務所代表)
 竹村 真一 (文化人類学者 京都造形芸術大学教授)
 西田 佳史 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター)
 ひびの こづえ (コスチュームアーティスト)
 益田 文和 (東京造形大学教授 オープンハウス代表取締役)
 水戸岡 鋭治 (デザイナー ドーンデザイン研究所代表)
 宮城 俊作 (ランドスケープアーキテクト 奈良女子大学教授)
 山中 俊治 (慶應義塾大学教授 設計組織 PLACEMEDIA・パートナー リーディング・エッジ・デザイン代表)

【生活者推薦「あなたのおすすめ！キッズデザイン」】

一般の生活者の方から、キッズデザインな製品やサービスを募集し、企業等に応募を促す生活者推薦「あなたのおすすめ！キッズデザイン」を本年も実施します。<http://www.kidsdesignaward.jp> の TOP ページより、どなたでも推薦対象の投稿ができます。

【キッズデザインマークについて】

キッズデザイン賞を受賞した対象は、任意でキッズデザインマークをつけて、その成果を訴求することができます。キッズデザイン協議会が実施した一般消費者を対象に実施したアンケートにおいては、7割以上の人がキッズデザインマークのついた商品を購入したいと回答しています。キッズデザイン賞のシンボルマーク(キッズデザインマーク)のコンセプトは「割れた形、壊れてはじめて気づく子どもの安全・安心」。グラフィックデザイナー佐藤卓氏によるデザインです。

キッズデザインマークの使用料については、<http://www.kidsdesignaward.jp> でご確認ください。

昨年第5回に引き続き、第6回キッズデザイン賞では、マーク使用キャンペーンとして中小企業※からの応募の受賞作品には無償でキッズデザインマークをご使用いただけます。

※ 中小企業基本法第2条の規定による。但し大企業である親会社から出資を受けている場合は中小企業に該当しません。



復興支援デザイン部門の受賞作品についてもマークを利用無料とします。また、キッズデザイン協議会が主催する復興支援プロジェクトに参画して活動される場合は、所定の手続きによって「KIDS DESIGN

PROJECT」マークも無料で利用できます。

【第6回キッズデザイン賞応募事務局】

TEL 03-3549-0505(平日 10:00~17:00) FAX 03-3549-0030

お問い合わせ専用メールアドレス 2012kids@kidsdesign.jp

— 本件の内容に関するお問い合わせ —

キッズデザイン協議会: 藤井、大竹

TEL: 03-5405-2141 FAX: 03-5405-2143 E-Mail: info@kidsdesign.jp

